

様式第 4 号

課題名	腹臥位造影 CT における左心耳造影効果と非発作性心房細動に対するカテーテルアブレーションの予後との関連性
承認番号	2023-17 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 循環器内科 氏名 山内康熙
研究期間	(西暦) 2023 年 10 月 ~ (西暦) 2025 年 12 月
研究の意義・目的	<p>非弁膜症性心房細動に対しては、カテーテルアブレーションという治療方法が考慮されます。カテーテルアブレーションとは、カテーテルを用いて頻脈の原因となる場所を治療し、その後不整脈が起きないようにする方法であります。近年、機械の進歩に伴いカテーテルアブレーションの治療成績は向上しておりますが、非発作性心房細動におけるカテーテルアブレーション後の再発率は依然高く、アブレーション術前に心房細動再発に影響を与える因子を把握することは、心房細動治療において非常に重要だと考えております。心房細動再発予測因子の 1 つに、経食道心エコー検査で測定する左心耳血流速度の低下が挙げられますが、経食道心エコーは口から挿入し、時にむせ込みや咳嗽反射などが認められ患者様への負担が大きく、症例によっては施行できないこともあります。造影 CT 検査、特にうつ伏せでの造影 CT 検査は、左房および左心耳内血栓の評価として優れていることが報告されておりますが、CT における左心耳内の造影効果と経食道心エコーでの左心耳内血流速度が関連していることも報告されており、左心耳内造影効果をアブレーション後の再発予測因子として活用できることが期待されます。しかしながら、過去に左心耳の造影効果 (CT 値) と術後再発の関連について調べた研究はなく、それらを明らかにすることが本研究の目的となります。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	2019 年 9 月~2021 年 7 月に、非発作性心房細動に対してカテーテルアブレーションを施行した症例を対象とし、患者様の年齢、性別、BMI、合併疾患や検査結果等の情報、カテーテルアブレーション中のデータやアブレーションの結果、周術期合併症、術後心房細動再発の有無などを調査して解析を行います。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	<p>非発作性心房細動に対してカテーテルアブレーションを施行した症例を対象とし、後ろ向きに評価いたします。</p> <p>データ解析の際には匿名で行うためプライバシーは保護されております。</p>
利用又は提供する 試料・情報の項目	年齢、性別、BMI、合併疾患や検査結果等の情報、カテーテルアブレーション中のデータ、アブレーションの結果や周術期合併症、術後心房細動再発の有無など
試料・情報を 利用する者の範囲	循環器内科 山内康熙、その他循環器内科医師
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	循環器内科 山内 康熙
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ

〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1

横浜市立みなと赤十字病院 所属 循環器内科 氏名 山内康熙

TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101